



くるりのお便り

ごみ・資源の分別について 大切なお願い

いつも分別にご協力
いただき誠にありがと
うございます。

日本では排出時にご
みと資源を分別して出
すことがルールになっ
ております。

世界では集めた後に
分別をする国も多く、
海外から来た方は少し
戸惑うかもしれませんが
一生懸命取り組んで
いただいています。

一方で、分別がしっ
かりと行われずに大き
な事故に繋がるケース
が増えており、カセッ
トボンベの爆発、リチ
ウムイオン電池火災な
ど収集時にパッカー車
両が炎上、そんなニュー
スをテレビでも目にし
ます。

もちろんこのような
ケースも大変深刻です
が、ニュースにはなら
ない課題も知ってもら
いたいと思います。

びんの回収箱にいれ
られる割れたびんや
陶器類はキケン！

「北区・びん」と書
かれたオレンジ色の箱
をご存じかと思いま
す。

管理する方や回収す
る作業員は、少しでも
多くびんが入るように
詰め替え入れ替えをし
ます。

この箱に本来はいれ
てはいけない「割れた
びん」や「壊れた陶器・
ガラス」が混入するケー
スが大変多く、なか
にはそれに気が付かず
に怪我をしてしまうこ
とがあります。

絶対にいけないで
ください！これらは不燃
ごみとして紙に包んで
袋に「キケン」と書い
て排出ご協力をお願い
いたします。

別の意味でキケン！
古着・古布に混入す
るとまわりの良質な
資源に悪影響が…

北区では区内9施設
で古布・古着の回収を
おこなっており、4月
からは回収可能な品目
が増え、多くの方に
ご利用いただいております。

回収できない物とし
て汚れのひどいもの、
濡れているもの、破れ
ているものはお断りし
ています。

濡れているものが混
入していると他の物が
濡れカビが発生し悪臭
の原因にもなり、せ
っかくごみにしないよう
に分別したのにより多
くのごみを生んでしま
います。

古紙は混ぜないで！
禁制品について

「紙にできない」「
」においがついている
「油がしみ込んでい
る」などの紙が混入する
と生まれ変わった紙が使
えないという危険もあ
ります。

ります。
大損害です！

ごみの減量、資源化
の主役は間違いなく排
出する皆様ですが、手
伝ってくれる方、集め
る方、資源を再加工す
る方も重要な役割を担
っています。

我々も回収時に十分
注意しておりますが、
皆様も更なる分別に
ご協力をお願いいた
します。



(鵜飼)

仕事ができる殺し
屋と聞いて思い浮かぶ
のは、冷酷さや戦闘能
力の高さかもしれない。

しかし、今回紹介す
る「殺し屋の営業術」
が描くのは、むしろ徹
底した顧客志向と課題
解決能力を武器にした、
極めてビジネスライク
なプロフェッショナル
像だ。

「紙にできない」「
」においがついている
「油がしみ込んでい
る」などの紙が混入する
と生まれ変わった紙が使
えないという危険もあ
ります。

本作は第28回江戸川
乱歩賞を受賞したミス
テリーでありながら、
読み進めるほどに営業
職やコンサルタントの
仕事論にも通じるリア
リティが浮かび上がっ
てくる。

依頼人のニーズを正
確に把握し、最適な手
段を提案し、確実に成
果を出す。

そのプロセスは、業
界こそ違えど現代のビ
ジネスパーソンに求め
られるスキルそのもの
だ。

テンポの良い展開と
巧妙などんでん返しを
楽しみながら、成果と
は何か、信頼とはどこ
から生まれるのかとい
つた本質的な問いを突き
つけてくる点が、本作
最大の魅力と言えるだ
ろう。

営業に有意義な心理
学や人間行動学も学べ
、とても面白い1作品で
ある。

(田中)

編集後記

走馬灯を楽しみにし
ている。

走馬灯：①中心部か
ら発せられた光により
内側の影絵が回転しな
がら煌びやかに映るよ
うに細工された灯籠。

②人が死ぬ間際に人
生の様々な情景や記憶

が脳裏に浮かんで消
えていく事。
私が楽しみにしてい
るのはもちろん後者で
ある。

映画やドラマなどで
高所から落下している
最中や車に轢かれそう
になる瞬間にスローモ
ーションになりながら過
去の楽しかった事や幸
せだったシーンがフラッ
シュバックする様な、
友達の結婚式とかでよ
く見る二人が出会う前
や出会った頃のスライ
ドショーみたいな、と
いえば少しはご理解い
ただけるかもしれない。

科学的な見解の一説
では、脳が迫ってくる危
機を回避するために過
去の全記憶の中から生
存のための解決策を猛
スピードで検索してい
る状態なのだろうが、
私はそんな情緒のない
話がしたいわけではな
い。

走馬灯とは人生の最
期に瞬く、美しくも取
り戻せない日々の記憶
であり、自身が主演・
監督・脚本をつとめた
追憶のエクスペリエン
ス・ムービーなのであ
る。

いつか必ず訪れる最
期の瞬間に、心の中に
どんな情景が映るのか。
たとえそれが悲しみ
や郷愁を伴うものであ
っても、その走馬灯の中

を流れる光景は自分
にとって愛おしくかけ
えのない記憶であつた
事に違いはない。

ただ一点、懸念して
いる事がある。

それは走馬灯に「ど
のシーンが選ばれるの
か？」である。

事前に「あ、このシー
ンとこのシーンお願い
します。」みたいに
予約出来れば良いが、
そんな機能は私の脳内
にはないし、あっても
事前に内容がわかって
しまうので、走馬灯が
楽しみではなくなる。

もし人生の中でイン
パクトを受けたシーン
が積極的に選ばれると
するならば、虫が嫌いな
私の走馬灯はきっと
虫に遭遇したシーンで
埋め尽くされてしま
う。

まだ見ぬ子孫に断末
魔の叫びみたい顔を
見せる訳にはいかない
ので、ここからの人生
は美しく優しいものだ
けにふれあいながら穏
やかに過ごします。

(サクマ ダイスケ)

次号(163号)
の発行は

8月1日
になります。

北区リサイクラー事業協同組合 官公需適格組合
http://www.kitaku-rila.jp/

新聞 / 雑誌 / 雑がみ
段ボール / 古着 (古布)

北区が認定する集団回収事業者です
区内ならどこへでも伺います
事業系古紙も取り扱っています



☎ 03-3910-1290 / Fax 03-3910-1263
(受付 9:00~17:00) 〒114-0016 北区上中里 1-41-10

粗大ごみの搬出

お困りの方はお気軽にご相談ください

03-6903-5757
(日曜・祝日を除く 9:00~16:00)



NPO 法人
北くるり協議会
北区上中里 1-41-10
http://www.kitakururi.jp